

令和2年度

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	90%	10%	0%	・スペースは十分確保されている。 ・クラス分けにより少人数スペースを広く活用し、落ち着いて活動できる。
	② 職員の配置数は適切であるか	40%	60%	0%	・その日の利用人数に応じて各事業間で連携を図り、協力体制で行っている。 ・基準上は足りているが、その日の利用人数や職員の振替、児童の特性により、手が足りないと感じることがある。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	20%	0%	・他事業(放課後等デイサービス)とは区別し、単純な同線工夫あり。 ・提示物は写真等と用いて分かりやすいように工夫したり、特性に応じた配慮をしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	・児童に合った環境を考え、活動も工夫して実践している。 ・日々の衛生管理や安全管理も確実にしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	・毎日のミーティングや振り返り、サポート会議、打ち合わせ等で部門毎に話し合い、会議等で全体に周知。 ・施設内リスクについては委員会等で周知の上、改善が図られている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	・アンケートの配布・集計・評価を行い、業務改善に繋げている。結果についてはホームページにて公表。改善要望等あれば会議、委員会等で検討している。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	90%	0%	5%	・ホームページ、事業所のおたよりで公開。学校等関係機関向けのアンケート結果については、通知文書にて報告している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	95%	5%	0%	・第三者評価委員による評価を毎年度実施している。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	55%	45%	0%	・今年度はコロナの影響で確保できておらず、内部研修も少なかった。 ・今後は、感染状況を見ながら外部研修を含め各種研修を充実させていく。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	・丁寧なアセスメント作成を心がけ実践し、発達段階に応じた計画を作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	95%	5%	0%	・遠城寺式、発達の記録等で記録。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	90%	0%	0%	課題や個性、強みなどを領域別に見極め、該当領域については個別支援計画にも明記している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	95%	5%	0%	良好。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%	0%	専従職員体制を敷き、児童発達管理責任者が中心となってプログラムの企画・立案・決定を行っている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90%	10%	0%	・基本プログラムと児童の個別課題を組み合わせながら、季節に合わせた活動等も取り入れ実施している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	・個別活動、小集団活動を曜日で分けながら、児童それぞれに合わせた個別支援計画の立案を行い、検討をした内容ケアカンファレンスにて全体周知し対応している。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・児童発達管理責任者、専従職員、サポート職員にて前日及び療育終了後に実施している。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	・児童発達管理責任者、専従職員、サポート職員にて療育終了後及び支援開始前に実施している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・サービス提供書を用いて職員間で検討し、改善に繋がったり丁寧な対応を心がけている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・定期的に行い、見直しについて判断している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	・児童発達管理責任者や担当者が出席し十分に対応している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	95%	5%	0%	・必要に応じて連携を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	75%	20%	0%	・必要に応じて連携を図っているが、実際の支援者や担当者が色々な方面から支援の方法を探る・見学する等、研究が今後はより一層必要だと思われる。 ・主治医のドクターより、指示書を書いてもらい提出してもらっている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	85%	10%	5%	・体制を整備しており、医ケアが必要な児童の主治医からは、看護情報の提供を書面で徴している。 ・緊急時の対応はマニュアル化してある。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	80%	20%	0%	・連携会議を通して、情報共有を図っている(連携会議、訪問支援、校区連絡会など)。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	85%	15%	0%	・連携会議を通して、情報共有を図っている(連携会議、訪問支援、校区連絡会など)。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	15%	5%	・行政や関係機関との協力及び合同企画でのセミナー開催や交流、研修受け入れなどを実施している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	45%	40%	10%	・こどもまつりや幼年防火まつり、他保育所の体験保育、園外療育などで交流の機会を設定(コロナで中止)。 ・交流の機会(他の園など)を更に持てると良い。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	55%	40%	5%	・中学校区連絡会、連携会議などに参加している。 ・自立支援協議会へは施設長が参加。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・提供書、登降園時、面談、その他必要に応じて児童の状況や分析した課題について伝えている。
保護者へ	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%	0%	・毎年度、実施している。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	・十分に対応している。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	・十分に対応している。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	95%	5%	0%	・随時積極的に対応し、話しやすい環境設定に気を配っている。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	95%	5%	0%	・コロナで例年通りではないが、開催に応じて場所の提供等対応している。(パンビの会)

の 説明 責任 等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	95%	5%	0%	・児童発達管理責任者や管理者が中心的な窓口となり、誠意を持って対応している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	95%	5%	0%	・園だよりを発行している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	・遵守している。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	95%	0%	0%	・個別支援計画で配慮方法等を検討し実践している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	45%	15%	・例年、独居老人高齢者交流会、他事業所交流会、ボランティア受け入れ、併設施設交流を行っているが、今年度はコロナで中止。
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	90%	10%	0%	・十分に取り組んでいる。感染症に関しては内部研修やスタッフ会議で確認を行い、家族向けにはお便り等で周知を図っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・十分に取り組んでいる。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	・アセスメント、入園児健康診断、定期検診、健康調査などを用いて丁寧に確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	95%	5%	0%	・看護情報提供書や検査結果等、病院からの情報を提供してもらい、医師の指示のもと対応する体制を整備している。 ・配膳時のトレー分け、数回のチェックなど誤配膳がないよう注意している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	95%	0%	0%	・リスクマネジメント委員会や法人会議などで検証・共有し、対応している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	85%	10%	0%	・虐待防止、合理的配慮、権利擁護、コンプライアンスなど研修の機会を確保し実践している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	30%	40%	30%	・契約書の中には記載しているが、身体拘束の事例がなく、今後も身体拘束は行わないが、万が一の場合は、緊急時に限り保護者の同意を得て施設長の指示のもと対応する。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。